

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	マネーマネジメント I	配当学年	1
講義名（コード）	マネーマネジメント I（DB）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	春学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	沼波 正	授業形態	講義
成績評価教員	沼波 正	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	中央銀行に長年携わり、欧州局長を務めた教員が講義する。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	通貨、銀行、金融機関と金融市場の基礎知識を学ぶ
到達目標	金融機関と金融市場の基礎的キーワードを身につけ、概要を説明できる
全体の内容と概要	金融市場での金融取引の色々を基礎レベルで学び、FinTechの将来性を理解する
授業時間外の学修	新聞、ニュースの経済面を読む
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	回	講師	授業内容
1	4/18	沼波 正	・ お金と金融の役割 ・ この講義の主な内容
2	4/25	沼波 正	・ 現金とデジタル通貨
3	5/9	沼波 正	・ 金融商品の種類 ・ 資産運用の原則
4	5/16	沼波 正	・ 金融機関の業務と抱えるリスク
5	5/23	沼波 正	・ 中央銀行の機能と独立性
6	5/30	沼波 正	・ 金融危機の経験(1)—日本におけるバブルの発生と崩壊
7	6/6	沼波 正	・ 金融危機の経験(2)—世界的な金融危機
8	6/13	ソラミツ 宮沢 和正	仮想通貨とブロックチェーン技術
9	6/20	ソラミツ 宮沢 和正	中央銀行デジタル通貨（カンボジア国立銀行事例含む）
10	6/27	ソラミツ 宮沢 和正	Fintechの実装された社会と地方創生
11	7/4	沼波 正	・ 中央銀行は資産価格バブルにどう対応すべきか？ ・ 中央銀行が直面する課題
12	7/11	沼波 正	・ 非伝統的金融政策・日本銀行のQQE（「異次元緩和」）
13	7/25	沼波 正	・ QQEの隠れたコスト
14	8/1	沼波 正	・ 日本の財政赤字 ・ 日本経済を巡る「不都合な真実」
15	8/8	授業なし	授業なし

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	・ 本教員は、国際金融機関各種業務を歴任。大手企業の取締役、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。